慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	イギリス文学・文化におけるD・H・ロレンスの位置再考 : 宗教性と主体性
Sub Title	Reconsidering D.H. Lawrence in British literature and culture : his vision of religion and religiousness
Author	武藤, 浩史(Muto, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	2018年度の研究について、大きな成果が一点ある。D・H・ロレンスの書いた最も宗教性に富む短編小説'A Dream of Life'の草稿を精査し、権威あるCambridge University版D・H・ロレンス全集に収められた同作品テキストに見られる数多のあやまりを指摘し、同時に正しいテキストを自ら作った本文校訂の論文が英米のロレンス研究者の間で高い評価を受け、イギリスの学会誌The Journal of D. H. Lawrence Studies (December, 2018)に掲載された。50頁近い長さになる同作品に関する網羅的な論考で、序と概観、Cambridge University版の誤りの指摘、それにとって代わる決定版となる武藤版の掲載、武藤版のTextual Apparatus、ロレンスの草稿ノートにある破りとられたテキスト断片の写しから成る。なお、その際に、自筆草稿、タイプ原稿の写し、初版、ペンギン版、ケンブリッジ大学出版局版、そして武藤版と、6種類のテキストの比較精査が必要となり、学生そして卒業生に手伝ってもらったため、元々の研究計画にはなかった謝金が生じたが、これは、本研究の成果を広く世界に発信するための必要経費とお考えいただきたい。 その他は準備的な作業で、チャールズ・テイラーの著書をはじめとして、現代性と宗教性に関するさまざまな研究書、「スピリチュアリティ」研究、宗教史研究、宗教的文学研究、主体性の研究、そしてロレンス研究とバランスよく、それなりに充実した資料収集ができたのではないかと自負している。これらの資料を活用して、次年度も継続される本研究の発展に生かし、さらにロレンスを広い現代性のなかで位置づけてゆきたいと思っている。 My new critical edition of one of D.H.Lawrence's most religous story, 'A Dream of Life [An Autobiographical Fragment],' was published in a British journal devoted to the study of D. H. Lawrece, The Journal of D. H. Lawrence Studies. As the Journal suggests, this edition is an important contribution to the International Lawrence studies, replacing the authoritative but erroneous Cambridge University Press edition of the same story.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180030

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年 4 月 1 日

2018 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	200 （B）千円
	氏名	武藤 浩史	氏名（英語）	Hiroshi MUTO		

研究課題（日本語）

イギリス文学・文化における D・H・ロレンスの位置再考――宗教性と主体性

研究課題（英訳）

Reconsidering D. H. Lawrence in British Literature and Culture: His Vision of Religion and Religiousness

１．研究成果実績の概要

2018 年度の研究について、大きな成果が一点ある。D・H・ロレンスの書いた最も宗教性に富む短編小説'A Dream of Life'の草稿を精査し、権威ある Cambridge University 版 D・H・ロレンス全集に収められた同作品テキストに見られる数多のあやまりを指摘し、同時に正しいテキストを自ら作った本文校訂の論文が英米のロレンス研究者の間で高い評価を受け、イギリスの学会誌 The Journal of D. H. Lawrence Studies (December, 2018)に掲載された。50 頁近い長さになる同作品に関する網羅的な論考で、序と概観、Cambridge University 版の誤りの指摘、それにとって代わる決定版となる武藤版の掲載、武藤版の Textual Apparatus、ロレンスの草稿ノートにある破りとられたテキスト断片の写しから成る。なお、その際に、自筆草稿、タイプ原稿の写し、初版、ペンギン版、ケンブリッジ大学出版局版、そして武藤版と、6 種類のテキストの比較精査が必要となり、学生そして卒業生に手伝ってもらったため、元々の研究計画にはなかった謝金が生じたが、これは、本研究の成果を広く世界に発信するための必要経費とお考えいただきたい。

その他は準備的な作業で、チャールズ・テイラーの著書をはじめとして、現代性と宗教性に関するさまざまな研究書、「スピリチュアリティ」研究、宗教史研究、宗教的文学研究、主体性の研究、そしてロレンス研究とバランスよく、それなりに充実した資料収集ができたのではないかと自負している。これらの資料を活用して、次年度も継続される本研究の発展に生かし、さらにロレンスを広い現代性のなかで位置づけてゆきたいと思っている。

２．研究成果実績の概要（英訳）

My new critical edition of one of D.H.Lawrence's most religous story, 'A Dream of Life [An Autobiographical Fragment],' was published in a British journal devoted to the study of D. H. Lawrece, The Journal of D. H. Lawrence Studies. As the Journal suggests, this edition is an important contribution to the International Lawrence studies, replacing the authoritative but erroneous Cambridge University Press edition of the same story.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
Hiroshi MUTO	A New Edition of D.H.Lawrence's '[Autobiographical Fragment (A Dream of Life)]'	The Journal of D. H. Lawrence Studies	December 2018